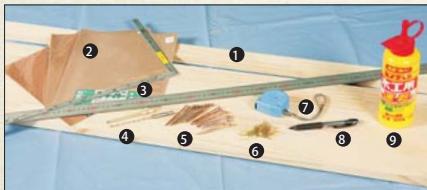


電動工具で組み立てカンタンシリーズ

マガジンラック付きのベッドサイド・テーブルを作ろう

ホームセンターで、こんな材料を用意しましょう



【木材・用具】①木材(ラジアータパイン集成材、シナベニヤ)
②サンドペーパー ③カネヅカ、モノザシ
④ドライバービット(下穴あけ用、プラス、木工用) ⑤木ネジ(6.5mm)
⑥真ちゅうクギ丸頭(3.2mm) ⑦メジャー ⑧鉛筆 ⑨木工ボンド
ほかに、ハンマー、ダボ(直径8mm)など



【電動工具】①充電パワーカッター
②充電ドリルドライバー
③充電インパクトドライバー

《工具協力》松下電器産業(株)

眠る前に読んだ雑誌や本は、下のラックにボンと落として、後はすぐお休みなさい。ベッドまわりの小物もスッキリ整理できる「ベッドサイド・テーブル」を作つてみませんか。電動工具があればカンタンに組み立てられます。制作の指導は、ホームセンターのダイキEX岡山。電動工具協力は、松下電器産業(株)の「マイジョイ」シリーズです。



上部には引き出し、下部にはマガジンラック付き
のベッドサイド・テーブル。(作り方は次ページ)



マガジンラック付き ベッドサイド・テーブル

電動工具で組み立てカンタン！

親・子・孫の3世代チームでいつしょに「ベッドサイド・テーブル作りにトライ

電動工具に使い慣れた祖父と、初トライの娘
ギヤラリーと応援団は孫たちのにぎやか3世代で

今回、パコマD-1-Y教室に参加する藤木真樹さんは、6歳、2歳の子ども達を連れ、そのお守りがてら実父の三村憲次さんと4人でやってきました。「私は電動工具は初めてですが、D-1-Yで手づくりするのは大好きです。父は工具に慣れていますので、いっしょに手伝ってもらいます」

●アドバイザー
ダイキE X岡山
D I Y担当／三宅さん(左)、有原さん(右)

電動ドライバーで、速い！ ラクラク組み立て！ サンドペー。パー。掛けは、孫たちが大活躍

組み立ての最初は、ベッドサイド・テーブルの引き出し部分を作ります。

叩き込むハンマー機能がついたインパクトドライバーを使います。

の日向子ちゃんも、そばでできることはお手伝いします。

最初は、木材の直線カットから、電動工具のパワーカッターを使ってカットします。憲次さんは手慣れた

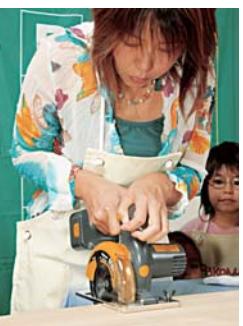
カットは、パワーカッターを使い慣れた
いちゃんが最初に使います。

天板を付けてできあがり。引き出しの組み立てには、真ちゅうクギを使いますが、本体の組み立ては、木ネジを電動ドライバーでとめていきます。このとき、ドリルドライバーで下穴をあけておくと、木ネジを締めやすく板が割れる心配もありません。木ネジ締めには、ネジ締めと上から



方、使い方を教わってちょっと練習タイム。真樹さんはD-1-Y大好きなだけあって、すぐに使えるようになりました。どちらのドライバーもスイッチを入れると、ネジ元を照らすライトが点灯する「ユーモデル」。こんな便利なものがあるんですね。手回しのドライバーは手が疲れて大変でしたが、これがあれば、いくらでも作りたくなります」と真樹さんは、初めての電動ドライバーもすっかり

真樹さんも、パワーカッターに初トライ。初めての電動工具にちょっと緊張気味です。



様子でスイスイ。真樹さんも初トラ
イしてみます。と言つても、木材の
線を引いたところにパワーカットা
を当てて前に進めるだけ。丸い刃が
回りながらカットしていきます。「思
つたよりカンタンに使えますね。も
つと難しいかと思つていました。全
く力が要らないのでこれはラクです。
スピードも速いし、コンパクトで手
になじみやすいです」と、真樹さん
の感想。親子で次々にカットが進み、
次はいよいよ組み立てです。



マガジンラック付き「ベッドサイド・テーブル」の作り方



8 引き出し受けのサンを、木工ボンドと真ちゅうクギで、側板に取り付ける。



11 最初に作った引き出しのツマミを、残ったハギレなどで作りボンドと真ちゅうクギで取り付ける。



12 サンドペーパーで木の表面と角をきれいに磨く。



13 好みで、透明ニスなどでペイントする。



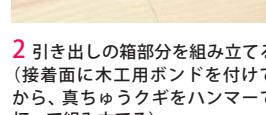
1 木材に図面どおりに印をつけ、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



4 本体の組み立て。側板と底板を取り付ける。(下穴…ドリルドライバー、ネジ締め…インパクトドライバー、以下の作業も同じ)



5 上部の背板と側板を付ける。



2 引き出しの箱部分を組み立てる。(接着面に木工用ボンドを付けてから、真ちゅうクギをハンマーで打って組み立てる)



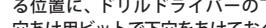
6 下部の背板と側板を付ける。



7 下部の前板と側板を付ける。



8 本体の各パーツの木ネジを締める位置に、ドリルドライバーの下穴あけ用ビットで下穴をあけておく。



木ネジ打ちも、インパクトドライバーで一瞬のうちに。



お気に入り。できあがった作品を、サンドペーパーできれいに磨くのは、日向子ちゃんと亜加梨ちゃん。小さな手で一生懸命磨きました。親・子・孫の3世代でいっしょに作った作品は、「素敵なお出がづくれて、いい記念になります」とみんな笑顔の藤木さんファミリーでした。



サンドペーパーかけには、亜加梨ちゃんも参加。

